

ガンダムのおっちゃん「なんでワシが呼ばれへんのや！！」

原作愛が足りぬわ！

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

私はこの目で、駄作の内情を具に見てきた。ネタバレ以上にキャラクターの書き分けにも疲れている。

先述の駄作産み落としと、雑談短編の作品も、作者にとっては引き出しギリギリの駄作でしかなかったのだ。

作者は見苦しいが、ネタバレも苦しい。彼らに残された駄作はあまりにも少ない。

目次

ガンダムのおっちゃん「なんでワシが呼ばれへんのや!!」 | 1

ガンダムのおっちゃん「なんでワシが呼ばれへんのや
!!」

.....

「ユニコーン君とかダブルオー君ばかり呼ばれてなんでガンダム・ザ・
ガンダムのワシが呼ばれんのや!おかしいやろ!」

「オジキ、僕ユニコーンさんじゃなくてナラティブです…。」

「奈良手郎くんも悔しくあらへんのか!?あいつらばかり美少女ハーレ

ムにお呼ばれして羨ましいやんけ！」

「ナラティブです。嫌ですよ…僕らがIS二次創作に出るとだいたいコズミック・イラ並の民度しかないやつばかりのアンチものになるじゃないですか…。」

「シャアザクと百式のISパイロットは可愛い女の子だったそうやん、ワシらもワンチャンあるで。なあネガティブくん。」

「ナラティブです…あとアレはMS本体じゃなくてそれを模してるだけですよ多分。(だからシャアザクさん後ろで大破してるのか…。)」

「ワシだってブルー・ティアーズのファンネルもどきに『そこだ!』とかしたりブリュンヒルデ見て『僕はあの人に勝ちたい…。』とかやりたいねん!」

(ヒロイン達がCGの中1人だけセル画でぬるぬる動いて戦うおっちゃん)

(1人だけ作画が安定しないおっちゃん)

(福音戦でおっちゃんを乗せると巨大化する赤椿)

「それどっちもオジキじゃなくてアムロさんじゃないですか…それにあんまり言いたかないですけどオジキ(ISサイズ)の性能だと無双できる相手なんてせいぜい名無しモブの打鉄やラファールぐらいじゃないですか?相手はバイアランカスタム並にビュンビュン飛ぶ上にキュベレイやシルヴァバレットみたいなみょうちきりん兵装持ってるんですよ?..」

(シャルロットのパイルバンカー喰らう度に上半身パーツ交換する

おっちゃん)

「ワシも戦闘機とドッグファイトできる位飛べるし、みょうちきりんな兵装で…そんなもんワシのハイパーハンマーでイチコロやで奈良大仏くん。」

「あれって結局大ジャンプしてさらに大ジャンプしてるだけとかどっかで読みましたよオジキ…というかISは福音戦とか見る限りギヤプラン並の速度でアツシマー以上の空中機動できますからね?…それとナラタイプです。」

(なので空中戦になる度に何処からともなく飛んでくるGファイターに乗って戦うおっちゃん)

「あとオジキ…ガンダム世界のビーム兵器ってほぼ荷電粒子砲ですから物理的兵器を無効化できるシユバルツァ・レーゲンで詰むと思えますよ?。」

「なんや奈良漬けくん、知らへんのか。ワシのビームライフルは戦艦の主砲並の威力やで?。」

「そんなもん持ち込めるわけなんですって…アレ一応スポーツですから破壊力とかダウングレードされますって…。」

「ならアレや!一夏くんがワシのパイロットとかどうや?ワシの武装の方が白式ちゃんよりええと思うで空手部くん。」

「どうせオジキに一夏くん乗せたら1次移行でッガンダムさんになりますよ。あとナラタイプです。」

「序盤でワシじゃなくなったらワシが出る意味ないやんけ!」

(2次移行でh i l lになるおっちゃん)

(セシリアがドン引きするくらいえげつない軌道するファンネル)

(セシリアそっちのけでビット兵器同士でドッグファイト始めた上にブレードでチャンバラし合う一夏とマドカ)

(ファンネルより活躍する置きバズーカ)

「ならオリ主がワシのパイロットになればええねん！せやろインポツシブルくん！」

「今どきわざわざオジキを専用機にする人いますかね…というかオジキ自分で言ってたじゃないですか、オリ主はみんなユニコーン先輩やダブルオーさん選ぶって…昭和ガンダムを専用機にするオリ主多分いませんよ？あとナラタイプです。」

「まあそりやどうせならかっこいい背負い物とかごっつい武器持った主役機に乗りたいたいやろうな…ジムとかジエガンみたいなやられメカに乗る奴の気がしれへんわ！ガツハツハツ！」

「お、オジキ!?!…それ言ったら怒られますって!!面白いのが最近出たんですから！」

(バトオペでそんなに見ない素おっちゃん)

(どのステージでも誰かしらが参戦してるジム顔一族)

(こっさりいるゲム・カモフ)

「そういえば結構前にケンプファーもオリ主の専用機におったやんけ。」

「色々覚えてるのになんで僕の名前覚えてないんだよこの老害…（確かにありましたねそんな作品。）」

「オマケにちょっと前はゾックやで？何でそんなガンダムになると早口になるおじさんの受けを狙ったようなのばっか選ばれんねん！素直にガンダムを呼べや!!」

（I S 学園に入学する刹那。）

（自然な流れで学園に合流してくるガンダムマイスター達）

（福音倒した後に現れる裏ボスのミスターブシドー。）

「多分下手なガンダムよりもジオン星人のMは『従来のパワードスーツを流用した』『異形の見た目をした』とか『○○に特化した』とかのワード当てはめるとそれっぽく見えるからじゃないですか？それにアイツらって一部除けば等身大サイズでも中に人間が入ってても違和感無い体型してますよ。」

（ゾゴックに乗ってチャンバラする織斑先生）

（赤椿の代わりに箒ちゃんにプレゼントされるシャンブロ）

「もう諦めましょうよオジキ…ぶつちやけI S 二次創作に呼ばれてもどうせ一夏くんをアンチする為の舞台装置にされるだけですって…。」

「ならワシもドーペンウルフ色に塗装してイタリア行って主人公の専

用機になつたるわ。」

「オジキはなんなんですか？各所に喧嘩売ってスパロボどころかハーメルンからもハブられたいんですか？」

「誰かワシを主役にするまで大暴れしたるわい！誰のおかげでガンダムシリーズが40年も大地に立ったと思つとんねん！！」

「オジキのおかげでもありませんけどオジキだけの功績とは絶対言えませんが…。」

「もうええわい！ならISじやのうてワシが『ガンダム』そのものとして転生したるわい！！」

「あっ!?オジキはア・バオア・クーで…!」

.....

「千冬姉、なんかボロボロでトリコロールカラーの頭と腕が無い巨大ロボットが突然学園のグラウンドに現れたんだけど…。」

「粗大ゴミに出しとけ。」